

31日 水曜

列王Ⅱ

17:34 彼らは今日まで、以前の慣わしのおりに行っている。彼らは【主】を恐れることはなく、【主】がイスラエルと名をつけたヤコブの子たちに命じられた、掟や定めや律法や命令のおりに行うこともない。

17:35 【主】はイスラエル人と契約を結び、次のように命じられた。「ほかの神々を恐れてはならない。これを拝み、これに仕えてはならない。これにいけにえを献げてはならない。

17:36 大きな力と、伸ばされた腕をもって、あなたがたをエジプトの地から連れ上った【主】だけを恐れ、主を礼拝し、主にいけにえを献げなければならない。

17:37 主があなたがたのために書き記した掟と定めと律法と命令をいつも守り行わなければならない。ほかの神々を恐れてはならない。

17:38 わたしがあなたがたと結んだ契約を忘れてはならない。ほかの神々を恐れてはならない。

17:39 あなたがたの神、【主】だけを恐れなければならない。主はすべての敵の手からあなたがたを救い出される。」

17:40 しかし、彼らは聞かず、以前の彼らの慣わしのおりに行った。

17:41 このようにして、これらの民は【主】を礼拝すると同時に、彼らの刻んだ像にも仕えた。その子たちも、孫たちも、その先祖たちがしたとおりに行った。今日もそうである。

サマリヤに移住した人々は、神様を信じていると言いながら、また礼拝していると言いながら、「以前の彼らの慣わしのおりに行った。」とあります。その実際について詳しく述べられていますが、これ



は問題です。彼らとは逆の者でなければならないのです。

私たちはまずは主を恐れることです。偶像と関わり、主に従わないのは、主を恐れていないからです。またおきて、定め、律法、命令に従うべきです。ヤコブに限らずこれらはすべて聖書にあります。聖書を行いましょう。

そして「ほかの神々を恐れ」ないことです。偶像は単なるモノにしか過ぎません。悪霊は神に滅ぼされることが決定しています。それらに従って主への信仰を攻撃してくる人もあるかもしれませんが、彼らは主の守りの中にはいません。

そして主の契約を常に覚えることです。祝福の約束は力ある希望です。

私たちは「これらの民は主を恐れ、同時に、彼らの刻んだ像に仕えた」などということのないように、これらのことに本気になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

